

「地域共生社会」実現を目指して



「第 15 回登録理美容師の集い」開く

第 15 回登録理美容師の集いは、8 月 31 日にオンラインで開催しました。理事、登録理美容師を始め関係者のご協力に、深く感謝申し上げます。

日本で初めて「美容福祉」を提唱し、すべての人が「生きるほどに美しく」を実現できる社会をめざして活躍・指導されてきた山野正義・本NPO理事長は、昨年 10 月逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

その上で、理事長の思いをさらに発展させるために、美容福祉の原点を再確認しておきたいと考えます。国際的にも活躍した美容師・美容教育者の山野愛子は、「髪・顔・装い・精神美・健康美からなる美道五大原則」を確立・提唱しました。理事長は高齢化がすすむ現代社会では、「美道五大原則」を受け継ぎ、発展させて、人を美しくする美容理論と技術を、人間らしい生活の保障と生活の質（QOL）の向上をめざす福祉の分野に積極的に活用すべきであると考えたのです。

この構想に基づいて、理事長は「美容福祉」に基づく教育・研究・実践を次々と具体化させていきました。1999 年に山野美容芸術短期大学に美容師と介護福祉

士の 2 つの資格を取得できる 3 年制の「美容福祉学科」を開設し、同年 11 月には美容福祉に関する研究を目的に一般社団法人・日本美容福祉学会を設立しました。そして 2002 年 7 月 31 日、美容福祉理論に基づく訪問理美容を実践する「NPO 全国介護理美容福祉協会」を設立したのです。

こうした経過を踏まえて、各地で訪問理美容を実践されている登録理美容師のみなさまが、「登録理美容師の集い」を 15 回にわたって開催されていることの意義は極めて大きいと思います。皆様のご努力を讃え、心からの敬意を表します。

一方、視野を広げて日本社会の明日を展望しますと、日本の高齢化は、世界各国よりも早く進んでいます。日本人の 3 人に 1 人が 65 歳以上の社会が目前です。高齢社会では、みなさまが担われる訪問理美容への期待はますます高まっていくことは間違ひありません。

事務局としては、現状と将来を深く認識して、登録理美容師の皆様の活動を支えていく所存です。引き続き、ご指導ご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。
(事務局長 萩野道人)

山野正義理事長が提唱した「生きるほどに美しく」の理想実現に向かって努力しましょう

山野愛子ジェーン・NPO 全国介護理美容福祉協会理事長



みなさま、こんにちは。

コロナ禍の時代に登場したZOOMでの会議にも慣れてこられたと思いますが、忙しいスケジュールの中、ご参加頂きまして、誠にありがとうございます。こうしてお会いできること、大変嬉しく思っています。

第15回登録理美容師の集いが無事開催されましたこと、理事を初め多くの皆さんのご支援のお蔭です。深く感謝申し上げて、ひとことご挨拶を申し上げます。

先日、代々木の山野美容専門学校のオープンキャンパスに、現在、看護師として活躍されている方が参加され、「美容の力はすばらしい。少し年齢は重ねていますが、通信課程で美容師資格を取得して、療養されている方に美容施術を施してあげたい」とおっしゃっていました。

未来を担う高校生の皆さんに加えて、すでに社会人として活躍されている方々が、高齢者や障がいのある方にも健常者と同じように美しくて欲しいと考えて、美容師を目指す気持ちが生まれてきていることを知られ、大変感激しました。

山野学苑はこれまで、「ハサミの日記念ボランティア活動」などで、病院をはじめ、高齢者福祉施設、さらに在宅等への訪問美容を行ってきましたが、これを技術的にも組織的にも高めて、社会の期待に応えられるようにするために、新たな組織を結成することにしました。

「NPO全国介護理美容福祉協会」は、山野学苑の教職員を中心に多くの支援者を得て、2002年7月に設立されました。同年9月に、有楽町の外国人記者クラブにおいて設立記者会見を行ったこと、昨日のことのように覚えています。

本NPOの初代理事長である山野正義・山野学苑

総長亡き後、今年の2月から私が理事長を務めさせて頂いております。山野総長は、一人でも多くの人々が「生きるほどに美しく」を実感して、素晴らしい人生を送ることができるようになりますが、美容師の大切な使命であると、いつも強調されていました。私も山野総長の理想を受け継いで、少しでも近づけるように、努力して参ります。

また、美容室、サロンのみでなく、例えば代々木や新宿を起点として、訪問理美容を必要としているお客様に対して、何時でも、何処でも安心で安全な理美容を提供できる体制とともに、どこの病院、施設においても、特別なことでなく、普通に毎日理美容サービスを受けられ、理美容師が活躍できる場を作り上げていくこと、そして山野学苑のネットワークの一つとして、美容を学んでいる学生にも、その現場を実際に体験して将来に繋げて行ってもらうことが出来ればと、考えています。引き続きご支援、宜しくお願ひ申し上げます。

皆さんご承知の様に、日本では、世界のどこの国よりも早く、高齢社会が進んでいます。2022年度版高齢社会白書で高齢化率が28.9%（2021年10月1日現在）と発表され、日本人の3人に1人が65歳以上の社会が目前に迫っているのが現実です。これらの事実は、言い換えると、ますます登録理美容師の皆さんの活動が求められる社会になると言つても過言ではありません。

高齢者が何時までも元気で生き生きと生活できる社会「生きるほどに美しく」（Sunset is as Beautiful as Sunrise）の実現を目指して皆さんと一緒に頑張って参りましょう。

今日、お集まりの登録理美容師の皆様のご健勝と今後、ますますのご活躍をお祈りして挨拶とします。

ありがとうございました。

「美容福祉」を追究した山野正義理事長の業績を讃えて

山野正義理事長が提唱した「美容福祉」の実践の分野を担うNPO全国介護理美容福祉協会は、2002年7月に設立され20年の実績を積み上げてきました。この間、山野正義理事長は、美容師としての経験を積んだみなさまが、「美容福祉」に注目して、学び実践する姿勢を高く評価していました。そして「生きるほどに美しく」という美容福祉の理想を込めた言葉をいつも、熱く語り続けていました。山野正義理事長の業績を讃えるとともに、その志を受け継いでいきましょう。



＜事務局からの問題提起＞

理美容福祉の心…人々の人生に寄り添ってこそ

村木代志美・NPO 全国介護理美容福祉協会事務局



2007年に第1回を開催した「登録理美容師の集い」は、第15回を迎えました。私は第1回の集いから事務局を担当させていただき、たくさんの理容師・美容師のみなさまに出会い、共に歩んできました。その経験を通して学んだ「理美容福祉の心」についてお話をさせていただきます。

最初に私が「美容福祉」に関心を抱いた動機から現在までを簡単に自己紹介します。1970年に長野県伊那谷で生れました。小学生の頃、美容師に憧れ、中学時代には高齢者施設へボランティアに行き、1993年に念願の美容師になりました。

ある時、訪問美容に関する新聞記事を読み、調べた結果、山野美容芸術短期大学が美容と関連づけた「ホームヘルパー2級課程」講習を開催していることを知り、早速申し込み受験しました。そのご縁で2005年4月、美容福祉担当職員として学校法人山野学苑に採用されました。

山野学苑が提唱した「美容福祉」をさらに深く学ぶことが必要だと考え、2006年生まれの長男の子育てをしつつ、通信教育で2013年に介護福祉士資格を取得。その後、6年かけて2022年に武蔵野大学通信課程で社会福祉士受験資格を取得して卒業し、来年1月、国家試験に挑戦します。現在は、山野学苑美容福祉担当課長とNPO事務局員を兼務しています。

日本で初めて「美容福祉」を提唱した山野正義総長はいつも「美容師は、すべての人々が幸せな人生を送ることができるよう、お手伝いをすることが仕事です」とおっしゃっていました。

私も美容を通じて、「出会う全ての方々が幸せを感じてもらいたい」「自然と笑顔になっていただけるようにしたい」と常に思いながら、社会人と学生に対する美容福祉技術講習では、すいコ～ム・ハッピーシャンプー科目を担当し、休日などを活用して、在宅や施設での訪問美容を実践しています。

人には誰でも「心」と「身」があります。「身」は誕生から始まり、お宮参りや、初めてのカット(ファーストカット)、七五三、入園、入学、卒業式、

成人式、結婚式、子どもの誕生、さらには孫へと、世代を超えてつながっていきます。一方、障がいを持って誕生する人もいますが、その方々も人間としてはまったく同じなのです。

人々の「心」は、生老病死(しょうろうびょうし)の連続の中で変化していきます。老いとは人生の下り坂ではありません。肉体は衰えても、人間の「心」は息を止める瞬間まで生きています。そう考えると、在宅での老いの日々も、ホスピスでの日々も、人生を完成させる場所だということになります。

現在全国各地で構築が進んでいる、地域包括ケアシステムは、急速に進展する少子高齢化に対応すべく、医療・介護サービスを作り替えることを目的にしています。つまり、地域住民同士がお互いを支え合える「地域共生社会」をめざすものです。しかし、このしくみは認知度も低く、在宅という環境にこだわり、肝心のどう生きたいか、という一人ひとりの意欲や意思が置き去りにされやすいのではと、私は懸念しています。

私たち福祉理美容師は、「生きるほどに美しく」ありたいという人々の心を大切にしていくべきではないでしょうか。

そのためには、勉強し、知識を得て技術を身に付け、経験を重ねて、対応する能力が必要です。同時に根底に持ち続けるべきことが“Compassion=思いやり”、つまりひとへの優しさです。「憂い」に「人」で「優しい」という字になります。優しさとは辛さ苦しみを分かち合い共有することにより育ちます。

常にお客様に寄り添い「共にいる」理美容師であればこそ、人と人がつながり「絆」ができます。そんな強い絆が地域共生社会へとつながります。

人が人を助ける。人が人に仕え、人と人が共に育ち合い、共に生きることが出来るということは、何という幸せであり、喜びなのではないでしょうか。

対面でお会いしたかったのですが、オンラインで共有した時間の中で、私の思いが伝わってくれることを願っています。

ありがとうございました。

八王子市の地域連携の取組みについて

杉本剛英・NPO 全国介護理美容福祉協会理事、「美容室そら」



いま、高齢社会において必要だと言われているのが「地域共生の社会づくり」です。私が暮らす八王子市でもいつまでも暮らしやすい街づくりのための一つとして、2019年9月に発足した「はちおうじ人生100年サポート企業」について、その内容をお話させていただきます。

地域共生社会への取組み



八王子市の行う事業への参加について
美容室そら

これまでの活動

- ①2003年5月 NPO全国介護理美容福祉協会 登録美容師
- ②2004年12月 バリアフリーの美容室開業
日本美容福祉学会での事例報告発表
日本認知症予防学会発表
(2014 認知症予防とまちづくり
・コミュニケーションの再構築)
映画資料・写真展開催
ラン伴+はちおうじ参加
美容室による認知症ケアシステムへの参加

初めに自己紹介をさせていただきます。私は皆さんと同じように、2003年5月にNPO登録美容師として活動を始めました。その翌年2004年12月、現在の場所にバリアフリーの美容室「そら」を開業し、これまでに様々な美容福祉活動の実践に取り組み現在に至っています。

そしていま!!

新型コロナ感染症拡大により
高齢者の孤立が進み、心身機能の低下が危ぶまれるいまこそ、「美容福祉」が必要です。

- 1 地域共生社会とサステナブル(継続)な地域づくり
- 2 超高齢社会の理美容の現状と美容福祉がめざすところ

1-1 地域共生社会と地域包括ケアシステム



そして、これまでの取り組みの中で、これまでの美容師、美容室とは違った観点から様々な分野の方に「美容の持つ力」をご理解いただくことが出来ました。しかしその反面、社会全体で抱えている課題は美容福祉の力だけでは支えきれないことが多くあることも感じ、約20年前から言われている超高齢社会を支え乗り越えるためには様々な分野との協働が必須であるとともに地域単位での取り組みが重要視されています。

そこで今回は八王子市が行う地域包括ケアシステムを基にした「人生100年サポート企業」の取組みへの参加についてお話しさせていただきます。

八王子市が目指しているもの

高齢者計画・第8期介護保険事業計画で掲げる基本理念
いつまでも「望む生活」を送ることができる生涯現役のまち

【基本的な考え方】

支援が必要な状態になってしまって…できる限り

「望む暮らし」・「馴染みの暮らし」を送れるよう

多様な主体・専門職で守り、支えていくこと

3つの基本方針

多様な地域資源と専門職等のケアを連携させた「地域包括ケアシステム」
健康寿命延伸に向けた自立・セルフケア意識の醸成
暮らし方を選択できる地域づくりに向けた基盤整備

例えば「自分でできる」ようになる
ことを様々な立場の主体で支援
これまでの交流や楽しみ、活動が
これからも継続されるように…

1-3 はちおうじ人生100年サポート企業

はちおうじ人生100年サポート企業登録制度とは

- ・高齢者の日常生活を支えるためには、介護保険制度をはじめとした公的サービスにとどまらず、民間企業による市場サービスなどを適切に活用しながら、介護予防・健康づくりに取組むことが重要です。
- しかし、高齢者向けの市場サービスは数々存在するものの“見える化”されておらず、高齢者が自ら選択し利用できる環境が整っていました。そこで、制度に登録された企業のサービスについて、市から情報発信を行うことでその利用を促し、高齢者を重層的に支える体制づくりを目指す“はちおうじ人生100年サポート企業登録制度”を創設しました。

八王子市公式ホームページより抜粋

「はちおうじ人生100年サポート企業登録制度」とは何かについて、八王子市公式ホームページより抜粋させていただきますと、以下の通りです。

高齢者の日常生活を支えるためには、介護保険制度をはじめとした公的サービスにとどまらず、民間企業による市場サービスなどを適切に活用しながら、介護予防・健康づくりに取組むことが重要です。

しかし、高齢者向けの市場サービスは数々存在するものの“見える化”されておらず、高齢者が自ら選択し利用できる環境が整っていませんでした。

そこで、制度に登録された企業のサービスについて、市から情報発信を行うことでその利用を促し、高齢者を重層的に支える体制づくりを目指す「はちおうじ人生100年サポート企業登録制度」を創設しました。

この制度は2020年9月に始まり、様々な業種が登録されています。登録にあたっては幾つかの基準を満たす必要がありましたが、「美容室そら」は、これまでの活動実績から問題なく登録をしていました。

2022年8月現在、登録企業の中で理美容業界は当店の1店舗のみということが少し残念ですが、今後に期待したいと思います。

1-4 はちおうじ人生100年サポート協議体



1-5 登録基準と登録企業一覧

必須項目(1)	運動	・運動 コナミスポーツクラブ八王子、メガロス八王子、出雲バーナーナルトレーニング等 スポーツクラブ八王子、ゆうゆう散歩サロン、カーブス、テクノブレイン
	栄養	・栄養 まごころ弁当八王子店、ファーリース
	社会参加	・社会参加 サン・ライフ、吉地楽器、八王子ウェルフェアサービス、セレモア八王子本社
	生活支援	・生活支援 サン・ライフ、ユーバーサルタクシースマイルファーリース、バーゼルオーラ八王子店、H-10サービス 美容室そら
	その他の	・その他の 介護のお手伝い、介護タクシー会社、いなげや、イトーヨーカドー、住宅工場、コミュニティタウン セレモアグループ 東京民間急救サービス
必須項目(2)	生涯現役	
	仕事と介護の両立支援	・仕事と介護の両立支援 サン・ライフ、TK vital(ティーカーヴィタル)、北澤トータルライフサポート調査部

「美容室そら」を含め現在28企業が登録

各登録企業はじめ、市内21か所の地域包括支援センターのコーディネーター、それに関わる皆さんとの連携を深めるため、協議体が発足し定期的に会議が行われ、各企業の取組み発表や意見交流会が設けられ、そこで出たアイデアや各企業間でコラボした取組みが始まっています。

協議体の進行役として株式会社JTB(旅行会社)がSDGsの観点で参加しており、企業が社会ニーズや問題に取り組むことで社会的価値を創造し、その結果として経済的な価値も創造されることを意味する「CSV」、そして「CSR」その企業や組織にとって社会的に存在する上での果たすべき責任といった国際的基準の考え方での姿勢は、美容福祉の心を大切にしている当店にはとてもプラスになる時間です。

令和3(2021)年度第3回協議体では、当NPO監事であり山野美容芸術短期大学教授の大西典子先生にご登壇いただき、「美容福祉・美齢学ジエントロジーと連携事業」について講演をしていただきました。私たち登録理美容師には学びや研究発表の場が20年も前からあることや、地域づくりでの理美容室は「地域のコンシェルジュ」的な立場として重要な役割が可能であることなど、協議体に参加している様々な分野の皆様に「美容の持つ力」を認識していただけたと感じました。

2-2 超高齢社会の課題 フレイルについて



出典：東京大学 高齢社会総合研究機構

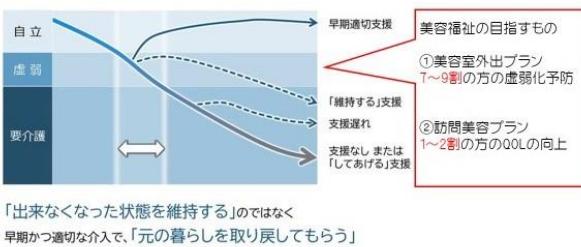
2-3 フレイルの悪循環は外出意欲の低下など…



出典：東京大学 高齢社会総合研究機構

超高齢社会の課題の一つに「フレイル」があります。フレイルとは、わかりやすく言えば「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。しかしフレイルは、早く介入して対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性があります。高齢者のフレイルは、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危険があります。

2-5 リエイブルメント(再自立)に必要な美容福祉



2-6 美容福祉が繋げる「こころ」+「経済」



長引くコロナ禍の影響で高齢者のフレイル状態を予防するために、外出の機会を作ることが大切です。そのためにこの協議体が発足され、そして外出を促進するための市内の魅力を発信する「るるぶ八王子、特別編集版」が発行されました。

こちらは高齢者が安心して外出できるよう、令和3年度老人保健事業推進費など補助金（老人保健健康増進等事業分）「地域包括ケアシステムの構築を起点にした多様な産業との連携がもたらす地域づくりの展開に向けた調査研究」を活用し、八王子市、国際長寿センター、JTBが協力して作成されました。100年サポート企業の紹介はじめ、高尾山や市内の史跡を体力に合わせて散策出来るよう、理学療法士、

作業療法士、生活支援コーディネーターが実際に歩いてチェックしたコースなど市内で楽しめる情報が掲載されています。

おもに地域包括センターに設置されているほか、9月には八王子美容組合に加入している約200店舗の美容室に配布していただける事になり、これをきっかけに賛同していただける美容サロンが増えることを願っています。

『るるぶ特別編集 八王子』



- 八王子市及び株式会社JTBにて、市内高齢者の方が「望む生活」を送るための支援事業の一環として作成。リハビリ専門監修の元、心身に不安のある人でも安心して歩くことのできる散策コースの紹介や、「はちおうじ人生100年サポート企業」の紹介や、高齢者のサポートに直接携わっている生活支援コーディネーターの声の掲載など旅行雑誌である「るるぶ」の体裁を用いて明るく楽しくご覧いただき、市内高齢者が自ら選択して外に出るきっかけ作りを目的としている。

八王子美容組合のご協力により、9月に市内組合加入約200店舗に配布、美容業への啓蒙及びお客様への情報提供に繋がる事を期待しています。

「集い」にご参加いただいている皆さんは、今年登録された方から発足当時から参加されている方まで様々です。活動している中でその技術は勿論ですが、今後は福祉に対する知識や情報といった「学び」が必要不可欠になっています。

そこで、今日の「集い」も含めて、毎年秋に八王子の山野美容芸術短期大学で開催されている「日本美容福祉学会」をもっと活用してみることがこれから皆様の活動に活かされると思います。

学会には行政、医療・福祉・など理美容の枠を超えた各分野のスペシャリストが美容と関連した研究発表や様々なメーカーがブース展示をされ、美容福祉を実践する上では情報の宝庫ですから、皆さんにも是非ご参加いただき、より良い社会づくりに貢献出来たらと思います。

地域のコンシェルジュとして学びの場

- 安心して暮らせる地域社会づくりには、地域にある多くの情報資源が必要です。そのためにも美容福祉に繋がる様々な角度からの考え方や取組みを知ることが出来る「日本美容福祉学会」への参加をおすすめします。いまの時代だからこそ社会で必要とされている「地域作り」に役立つ大きなヒントを得ることが出来る研究機関がある種類は限られています。「美容から見た地域づくり」では出来なかつたことを地域と協働して目標に向かって活動していきたいと思います。



高齢社会が抱える課題は山積みですが、美容を通じて地域の皆さん笑顔になれるようこれからも美容福祉の実践に取り組んで参ります。

簡単ではありますが、私からの報告とさせていただきます。

集いの前に行ったアンケートの集計結果

熊谷 真紀・NPO 全国介護理美容福祉協会・事務局員



第15回登録理美容師の集い開催に先立って、登録美容師のみなさまに、

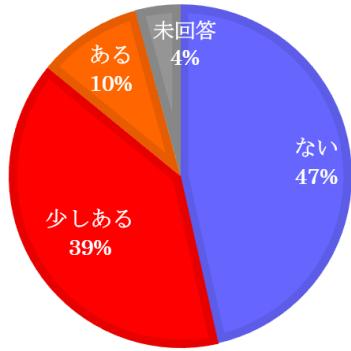
- ① 日常活動での不安
- ② コロナ禍下での活動への影響
- ③ コロナ禍でも登録理美容師として活動を通して良かった事があればお聞かせください
- ④ 理美容福祉師としての地域での取り組み(地域共生社会)について

以上の4項目についてのアンケートを実施しました。ご多忙な中、登録理美容師のみなさま72人から回答をいただきました。

以下のとおり集計結果を報告します。今後の活動の参考にしてください。

(アンケート回答は原文のまま記載しました)

1. 対面活動について不安がありますか？



<ない：47%>

◆施設側の管理を信用しています◆双方の感染対策が十分に整っているため◆本人、お客様共に、適切な感染予防をしていれば特に不安は無いと信じている

◆自分の出来る感染予防策はしているため◆感染対策をしている。毎日接客していて今のところ感染していない◆防止対策の徹底実施

◆感染対策を取っているから◆出来る限りの対策を講じているから◆これで感染した場合は致し方ないと思う◆感染症予防を徹底している◆店舗は、ご予約制、個室ですのでお客様の重複はない、自宅訪問は今は、受けていません

◆マスクのまま施術◆常時マスクをつけ、こまめな消毒をおこなっています◆対面活動をしていないので

<少しある：39%>

◆感染症対策が手探りの頃は、とりあえず人との接触やサロン・施設等での行動が制限されてましたがコロナ禍での行動は、ある程度自分なりの対策をした上で経済活動をしなくてはならなくて感染症は、無くならないのでこれからは、自己責任になると思い気をつけて美容の業を行いたいと思います

◆コロナが0となった訳でも無いし、対面する方の日頃の行動や感染対策対応が解らないから◆コロナが完全になくならないので◆目に見えないウイルスだから◆コロナ対策を徹底していても、見えないウイルスには常に不安はある

◆無症状の方かもしれないと言う不安◆感染した時に無症状だった場合◆最近ではエアロゾル感染もあると聞いてるので◆マスクが苦しいと外された状態で咳こまれたり、痰や流涎が多い方の場合

◆在宅の方で部屋が狭く密閉された状態で更に換気が不十分の中での施術の場合◆ただ、訪問先の方はワクチン接種3回済んでいる方が殆どで、私自身も4回済み万全な感染対策を心がけてお客様に臨ませて頂いておりますので、お客様の諸々の状況は予め想定したうえでスムーズに対応させていただいております

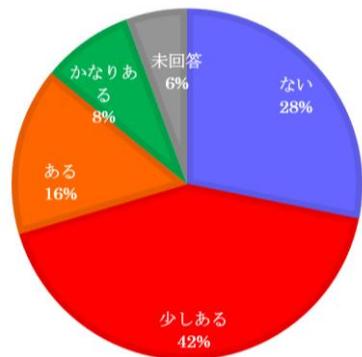
◆お客様は基本マスクしていないので、少し不安とした◆お客様の中にはマスクを時々外す方もいます◆お客様がマスクをはずして施術する時があるので飛沫感染しないか不安◆子どもたちでマスクをできない人がいる◆感染対策、年齢◆高齢者との対面時◆感染したり濃厚接触などで普段の生活が出来なくなること

<ある：10%>

◆普段の生活してたのにもかかわらず、コロナに感染したため◆コロナが次々と型も変化し、対応に躊躇する◆コロナが未知な病原菌な為、お客様も自分も病原菌だったらどうしようと思いながらも、できるだけの対策をしながら、頑張ってきました

◆万が一罹患したスタッフが発症前にサロンはもちろん、訪問先でお客様と対面した場合を考えると精神的なストレスを感じる

2 ウィズコロナに向けて現在の仕事への影響についてお聞かせください



<ない：28%>

◆コロナ禍前からの繋がり、信用信頼を構築する事が出来た◆サロンワークや訪問美容においてお客様もご利用者様や施設の方等それぞれに合わせた活動の中に美容をされる様になり感染対策をした上で活動が出来る様になりました◆行うべきことを徹底して行っています。

<少しある／ある／かなりある：66%>

【少しある】

◆施設様での訪問美容の受け入れはコロナ前に比べ90%位戻っておりますが、ウィズコロナにはまだ慎重な姿勢で臨まれておられます。ただ在宅の方は既にウィズコロナとして日常生活を送られている方が多く、訪問美容の依頼はとても増えています◆戻りつつある中、アクティビティや訪問美容は時短や制限がある。サロン来店もサイクル伸びた方々は、伸びたサイクルで慣れた感がある◆訪問美容について、複合メニューが減り、カットのみが増えた。遠方施設からの依頼は無くなつた◆お客様が怖いという認識が無くならないと必要最低限以外のメニューについては戻りにくいと思う。現状、個室でのヘッドスパ等が減つたり、時短したいからと辞めたメニューがいくつもあり、まだ回復していない。また、美容室でわざわざしなくてもホームカラーでもなんとかなる…等の認識を持たれてしまった方が今後また利用してくれるのか…。これから物価も上がるなか、必要最低限以外のメニューは影響あると思う◆予約時間に余裕を持たせている分、それ以外の要望を受けにくい◆濃厚接触者になつたりした場合のスタッフの減少◆施設側の、コロナクラス

ター等で出入りの禁止があった◆感染したくないので客足が、遠退いた◆遠方からのお客様が減つてしまつた◆出かける機会が減少して今までよりもサイクルが長くなつてきているお客様が増えた◆来店しなくなつた方や、来店周期が長くなつた為◆来店頂く頻度が長くなりました◆来店サイクルが延びてゐるお客様がいる◆来院期間が通常より長くなつてゐる◆以前ほどではないが、来店サイクルが長くなる

【ある】

◆コロナで中止なとこが多い事◆感染が増えると施設は入れなくなり、入れるようになると一気に切るため、次の月が無かつたり、人数少なかつたりする◆施設での訪問を断られた◆来店しなくなつた方もいます◆イベントなどが無くなり出かける機会がなくなつた為に髪を整えるのも期間をあけるようになり来店数が少なくなつた◆お客様の来店周期が延びてしまつ、イベントが無いため来店のきっかけも失なう◆

【かなりある】

◆施設はコロナが増えると外部からの出入りを制限するので収入が安定しない◆多い時は7ヶ所の介護施設から予約で忙しくさせていただいてましたが0に近くなつてしまいコロナ対策もしておりますが困っております◆高齢者が多く、それぞれの来店回数が減つてゐる、観光も行事も出掛けなくなつたのでお洒落の楽しみがなくなつたようです

3 コロナ禍でも登録理美容師として活動を通して良かった事があればお聞かせください

◆お客様に『さすが専門家ですね。』と仰っていたことがあります。感染対策(見える化)と衛生面の徹底、お一人おひとりの心身の状況に合わせた美容福祉道具の選択と安樂な姿勢での技術提供等々に安心され、訪問美容を受け入れていただけたこと。

◆コロナ禍で暗い世の中だからこそ、美容室に行くことがリフレッシュになってると言つていただけたり、施設様でも『美容は必須』と美容を特別に受け入れてくださつたり、美容師は本当に人達の、心と体を元気にできる素敵な仕事だなと思いました。

◆公開講座にて改めて感染症対策や消毒について学び他の美容師より意識が高く常日頃からお客様やご利用者様との関係を築けていたので美容活動にプラスになりました。

- ◆安心、安全面での信頼を感じ取れた事が1番です。安心安全という事で新規客や訪問依頼も増えた。
- ◆一般美容師だけではわからなかった事も、沢山学ばせていただいてきたおかげで、世の中が変わろうとも、慌てずその都度の対応が出来た。在宅訪問先の介護者のご家族の美容依頼など、喜んでいただけて新規客獲得にも繋がった。
- ◆ご高齢の方がコロナが怖くて美容室に行けずご家族様からご依頼があり、大変喜んでいただけた事◆外出困難な方や不安な方が訪問してくれるならと利用してくださること◆施設の入居者様や、在宅のお客様から、何処にも出られず困っていた。ストレスが溜まっていて、訪問美容に来てくれてありがとうというお言葉をいただきました
- ◆コロナでより一層外出ができないご高齢者のお客様は来てくれると有難いですと喜んでもらえる事◆老人施設だと、外出ひとつ気を使うので来てくれて髪をして貰えるのは有り難いと言う声や、いろいろ制限され気分転換もしにくい状況なので、外部から来る私達との時間を楽しみにして頂いているのが良くわかった。社会貢献になっているのかな…と嬉しい気持ちになる。
- ◆コロナ禍ですが、お客様は訪問を楽しみにしてくださっているので、必要としてくださっていることがとても嬉しいです。
- ◆コロナでも変わらず訪問して美容の施術が出来たこと◆介護施設の停止期間はありましたが、年間売り上げは下がりませんでした。コロナ禍では営業に力を入れました◆施設の訪問は極端に減ったけれど、居宅介護のお客様からの依頼が増えた◆在宅の仕事はある程度安定していた◆施設と感染予防対策をしっかり行い、施術することで利用者様に喜んでいただけたこと
- ◆消毒の仕方の見直し、改善◆沢山の経験と出会い、そして感謝の言葉をいただけるとき、やりがいを感じます。
- ◆ありがとう。と言われた時いちばん嬉しいです◆待っていたのよ！ありがとうね！と沢山言つていただける機会が増えたこと◆利用者の「気持ち良い、生きてて良かった」の言葉◆沢山のありがとうの言葉がエネルギー源となっています◆お客様の喜んでくれる声◆少しでもお役に立てれば光栄です◆利用者の役にたてること◆施設様、利用者様の笑顔を一緒に共有出来たこと、カット後とても喜んでくださったことが嬉しかったです。施設様との連携も以前よりもスムーズになったと思います。
- ◆ワクチン接種が医療従事者として扱われた事◆

これまでの実績からの信頼度が高いが責任も感じる◆高齢者は皆、要介護が必要になっていて、訪問しなくとも、日々の営業の中で介護福祉の研修は役に立っている◆今まで意識していなかった福祉について目を向けるきっかけになりました◆山野美容学校で勉強させてもらったと伝えると安心していただける。お客様に喜ばれる。

4 理美容福祉師としての地域での取り組み（地域共生社会）についてお聞かせください

- ◆地域包括支援センターに登録して在宅の訪問理容の依頼を受けています。ケアマネージャーとの連携。社会福祉協議会や、市役所等ご挨拶へ行かせていただき、お一人でもカットへ行かせていただけること、何度かお話ししに行きました。
- ◆利用者さまと自分だけでなく、施設関係、民生委員、介護に携わる方々にお声がけしてもらい、訪問美容があることを繋いで頂いてます。
- ◆地域での活動、市役所からのチケット保有者への施術。今後、超高齢化社会を見通して、官民一体の超高齢化社会を見据えての市の会議委員に市内美容師代表として選出していただき、参加している。
- ◆高齢者社会を支える官民一体の協議会へ参加し、福祉美容の大切さをうたったえる。
- ◆市が取り組んでいる「地域包括ケアシステムの構築を起点にした多様な産業との連携がもたらす地域づくりの展開事業」に参加。
- ◆高齢者あんしん相談センターでおしゃれ教室を開催し、地域の方と交流し訪問美容も知つていただきました。
- ◆コロナ禍を通して多くの人の心に地域共生社会の意識が高まっていることを実感しております。私はチームで活動しておりますがウィズコロナに向け、この度地域密着型の訪問美容ステーションをスタートさせました。具体的にはこれまでの私達の活動に対し、地域の療育に関わる医師、看護師、福祉専門職、特別支援学校、家族関係者等の皆様よりお陰様で高い評価を頂いておりますので、皆様のお力添えをいただきながら『美容を必要な人に届ける』という体制で地域共生社会に繋げることを目標としております。
- ◆サロンワークを始め訪問美容活動で知り合えたご縁を大切に地域での美容アクティビティ活動をしております。サロンは、地域の情報発信基地だと

思います。

- ◆行政と連絡した人生100年時代に向けた取り組み。
- ◆オレンジガーデンプロジェクトでの種配布。
- ◆シニアのボランティア活動。
- ◆美容福祉師として、地域現場に立ち、他業種との交流、連携を持ち、楽しく活動しています。地元短大で非常勤講師として、美容福祉の重要性、課題や実践を学生と共に学び、一人でも多くの美容福祉実践者を増やす事に力を入れています。
- ◆店舗に来られなくなったお客様への訪問美容を積極的に行っている
- ◆自立支援施設へ出張カットを行っています。
- ◆1番は訪問美容が増えた。サロンお客様やケアマネ様等との日頃のコミュニティから、訪問美容紹介へと繋がっている。
- ◆美容室へ来れなくなったお客様のご自宅へ訪問

してカットやカラーをしている。

- ◆出張の要請があれば断らないこと。
- ◆初任者研修を受講し、美容福祉を知ってもらえるよう地域ボランティア活動などに参加していけるように取り組んでいます。
- ◆ディケア施設の作業と自宅訪問と違う所は、金銭的にもお客様一人ひとりが一般客と同じプライドの満足感が得られるようです。車椅子でも出掛けて来れることが、生甲斐、家族のサポートが大事。
- ◆地域の人に知ってもらいたい。
- ◆地域での取り組みに迄、つなげられていないのが現状。お店の運営経営と並行するには人手が足りないし、人材を育てる時間が取れない。コロナ禍で働き方が変わりつつあるので、その点も含め今後、どう地域社会に役立てていくのかを考えてみたい。

集いの前に行ったアンケート 結果についてのまとめ

コロナ禍での訪問理美容に関するアンケートの実施は今回が3回目となりました。

【日常の対面活動への不安について】

認知症の方や子どもなどで施術中にマスクを外してしまう方がいらっしゃること、訪問先で狭く換気の不十分な場所での施術の場合、無症状の感染者もいるといった情報などから不安の声が挙げられました。一方で、ないと答えた方も全体の5割ほどとなり、できる限りの感染対策をして施術にあたっている、店舗では個室や予約制をとりお客様の重複を避ける工夫をしているなどの理由が挙げられました。福祉理美容師として安心安全な理美容施術が提供できるよう、今後も過信することなく、情報を精査した上で、感染対策の方法を更新し、対策を講じていくことが必要であると考えます。

【ウィズコロナでの仕事への影響について】

訪問・店舗共に営業自体は概ね再開できているものの、時短が求められることでの施術メニューの簡素化や、イベントや外出機会の減少による来店サイクルの伸び、感染状況の影響による福祉施設への出入り制限などの理由から、全体的に売上の減少や収入が安定しないといった課題が挙げられました。

しかし、そのような状況下であっても、登録理美

容師としての活動を通しての良かったこととして、施設や在宅で外部との接触を制限されている方々でも、美容施術は生活の中で必須のものとして位置づけて訪問理美容を受け入れて頂けている、心待ちにして頂けているなど、福祉理美容師だからこそ得られた嬉しいご報告を数多く頂き、感銘を受けるとともに、しっかりとした信頼を得て活動をされている登録理美容師の皆様の活動を誇らしく思います。

【集いのテーマ・地域共生社会に繋がる取り組み】

すでに多くの方々が地域包括支援センターやケアマネージャーをはじめとした他業種の方々と連携し、訪問理美容を幅広く知って頂けるよう取り組んだり、仕事に繋げているとの回答を頂きました。行政や医療、福祉、保健機関等、他業種の方と連携していくことは、福祉理美容師としての仕事の場が増えていくだけでなく、私たち自身も、理美容施術を通してお客様の様子の変化に気づき、双方の情報を交換・共有していくことで、地域の高齢者の介護予防の一助になることもあるのではないかと考えます。そして近い将来、地域包括ケアシステムの生活支援・介護予防サービスの一環として、美容福祉が介入していくことを願います。

最後に、こうして全国各地で活躍される登録理美容師の皆様の活動を紹介させていただくことで、皆様の新たな活躍の場が増えていくよう、お役に立てれば幸いです。

(事務局 熊谷真紀)

「グループディスカッション」は、参加者が4~5人のグループに分かれて2回、経験交流と課題などについて意見交換しました。その発言内容を要約してまとめました。

討議を通じて、登録理美容師のみなさまが、高齢社会における美容の大切さ、理美容師という仕事の意義を再確認して、訪問理美容の質を高め、地域で広げて行こうと努力されていることは、素晴らしいことだと思います。発言の一つ一つを参考にされて、さらに訪問理美容の質と量を発展させる活動の一助にしていただきたいと考えます。



美容福祉技術講習の理美容師の皆さんとジェーン理事長、中川巧スタン理事=2005年8月8日

【現在取り組んでいる主な活動内容】

- ◆登録理美容師の仲間とチームをつくり活動しています。
- ◆地域で医療・介護に携わる専門職の方々との連携による地域密着型の訪問理美容ステーションをスタートさせました。
- ◆栃木県で美容室を経営し、施設・在宅等の訪問美容活動と、地域の様々な活動などに参加して福祉ネイルに力を入れています。
- ◆美容室勤務しながら地域の理美容師さんと活動しています。
- ◆美容室勤務中です。美容室が2階のため、お客様の高齢化に伴い階段を上れない方病気の方に対して訪問理美容サービスを行っています。
- ◆今年5月に美容福祉技術講習受講後、10年ほど働いていた出張美容の事業所を退社して独立しようと動いています。
- ◆NPOの専属として療育センターへすいコームだけ

で仕事中です。登録美容師とグループを作り、主にすいコームと衛生や感染症等の技術や知識の勉強会を開催しています。

- ◆美容室経営（サロンワーク）を中心に施設・在宅訪問美容や美容アクティビティ等の活動中です。
- ◆美容室勤務に加えて、サロンワークや訪問美容活動をしています。

◆現在、別の仕事に従事していますので、美容師としては、25年のブランクがあり、そんな中で訪問美容に興味を持ち母校でもある山野学苑にて美容福祉技術講習を知り昨年受講しました。

◆10年ほど美容師としてサロンワークをしていましたが、福祉美容に興味を持ち、2011年2月に山野学苑の美容福祉技術講習を受講後、介護職として従事し、さらに様々な資格を修得しました。現在は、美容師のスキルと介護職のスキルを活かした活動を目指しています。

◆母が開業したサロンを引き継ぎ、2017年7月に美容福祉技術講習を受講後、訪問美容活動を開始しました。さらに地域の活動などに参加して人と人との繋がりを深め、仕事の幅を広げています。サロンでは「オレンジカフェ」いう認知症カフェを行っています。

◆美容室を経営しています。サロンにおみえになるお客様にも高齢やハンデをお持ちの方が増えてきたため、美容福祉を学びたく2022年5月に美容福祉技術講習を受講しましたが、まだ具体的な活動はしていません。

◆ホテルスパのセラピストとして長年勤務していました。5,6年前に山野美容専門学校の通信課程を卒業して美容師資格を取得し、先日、美容福祉技術講習を卒業したばかりです。

◆去年お店をオープンし、サロンと訪問美容を両立させて活動しています。

◆美容室経営中です。5年前に美容福祉技術講習を受講し、その翌月に開かれた「集い」への参加がきっかけで仲間と繋がり、一緒に活動しています。施設に行く際、男性のお客さまには、髪剃りができないため、理容師資格も取得しました。

【訪問理美容の現状と今後の課題について】

- ◆ある美容室では、美容福祉研修ということで、受講料を会社で負担して学ばせています。

◆高齢化に伴い高齢者の生活の質を向上させるため、建設業界や自動車産業等、さまざまな業界が高齢者をターゲットとした活動を進めています。美容業界も乗り遅れないように対策を講じなければ発展が望めないと思います。

◆足立、葛飾などは、介護施設も多くチャンスがいっぱいありますが、既に大手が入っているので、入り口が大変だなと思っています。【助言意見】NPOの登録美容師として活動すれば、名刺交換の時など有利です。



◆先輩のみなさまのお話を聞いて頑張って勉強していきたいと考えています。

◆訪問先には感染症の方もいるので、前から施設で行う講習を受けていました。以前からマスクや（感染対策用の）エプロンを付けて仕事をしていたので、マスクの上にフェイスガードをするのが増えたぐらいで難しいとは思っていません。プロとして、カットだけでなくそういう知識も教えたいと思い、講習を開いてきました。

◆足が遠のいているお客様へ電話をかけたりして、積極的に訪問にお伺いすることも、営業の一つの手だと思います。

◆家族が看護師ですが、コロナ禍の現場では防護服や消毒をしていても、どこかで感染してしまうこともあるようなので、感染対策をすれば大丈夫だと過信せずに、常に知識と技術の内容を更新しながら活動していくことが大切です。

◆この講習を受けたことで、色々なご縁や活動の範囲が広がりました。

◆コロナ禍になって施設は出入り禁止が多く、仕事は減ってしまいました。それとは別にお店があるお陰で、発達障害の方などが色々なサイトを見て沢山来て下さるようになりました。訪問は高齢者だけでなく、重度障害のある方にも行かせて頂いています。今後も集いや学術集会などで勉強させて頂きながら活動も広げていけたらと思っています。

◆デイサービスは出来なくなつたが、自宅に来て下さいというお客様が増えました。ただ、一軒ごとの移動時間がかかるのと、1人で回っているので、一日に伺える人数が限られてしまいます。

◆普段は在宅の訪問美容が多いです。感染対策はお客様、ご家族様の方がしっかりなさっている印象。こちらも入る前の手指消毒と手洗い、マスク着用を徹底しています。

◆地域包括支援センターで『おしゃれ教室』を開催し、まだ訪問美容はご利用なさらないお客様へ訪問美容を知って頂いたりしています。

◆以前は特養で3年勤務。その時はかなり徹底していました。今はサービス付き高齢者住宅で、マスクと手洗い消毒をしていますが、不安もあります。実は先月感染者が出ましたが、施設で実際にやったことは、一週間、全館消毒を一日に何度も行いました。ご利用者様のご家族の面会は時間を決めて、1時間以内であればうがい、1時間以上の場合は抗原検査を行って頂いています。職員は2週間に1回抗原検査を行い、陰性者のみ勤務という形で感染対策をしています。

◆地域密着型で地域共生ということで包括支援センターとともに、埼玉県でも官民一体でやっていくと、最近やっと第1回目の会議が行われました。その中で、美容業の代表となり、共生社会を創っていく第1歩になると思います。微力ながら地道に一步一步頑張っていきたいです。



◆コロナ禍で活動がすごく難しくなってきて、サロンを経営しながら訪問美容のご予約の受け付けも行っています。山野さんで勉強して本当に良かったです。埼玉県では保健所登録が必要で、それぞれの市に登録をしなければならなくて、自分の市と近隣の市に登録しているので隣の市からもご予約をいただきます。そのきっかけは、お客様で訪問看護師さんが来店時、寝たきりで、髪の毛が伸び伸びの方がいるのでと紹介頂きました。

◆地域によっては講習を受けないと訪問美容ができない所もあります。各地域の確認が必要です。

◆一番心配なのは、コロナ対策をどこまでどのようにしたらいいのか不安で、個人宅では窓を開け、フェイスシールドをしています。前回、呼気がシャンプーの時にどのくらい上がるとか実験の内容が、とても参考になりました。



◆まだ車椅子に座っている方ぐらいしかできなくて、それ以上のスキルアップはできないのが現状です。高齢になった方、お店が二階なので階段が上がれない方が2,3名、新規でホームページを見てという方1名です。お店を営業していると個人として訪問美容に行ける時間が限られ、徒歩圏内でこちらの都合に合わせて空いた時に行ける場合しか対応できていない状態です。スタッフはみんな山野さんで講習を受けました。スタッフがこれから増えたら訪問メインで活動できるシステムづくりが目標です。

◆お客様の奥様が入られている施設へ自分で初めて行ってみたのですが、料金と時間的なもので結局つながりませんでした。現状の料金と自分の休みを提案すると、マッサージや歯医者さんがくるので都合が合わなかったり、それがランダムだから火曜日に限定できなくて、お店を休んでまで行けるのか、3日後とかに対応できるか等、難しかったり、料金設定を少し上げる提案をさせていただいたのですがダメでした。

◆女性のお客様でシェービングを希望された方に「体験」ということでおこないましたが、施設側のスタッフさんから「電気シェーバーでやればいいんじゃない」というご意見をいただきました。お客様には喜んでいただけたのですが、その次の回でスタッフさんから「本部から電気シェーバーでやって下さいと言われた」と伝えられ、カット+シェービングの料金を頂く予定でしたが、シェービングはできなくなりました。

【質問とディスカッション】

【質問】コロナ禍で良かったこと、悪かったことについて教えてください。

【助言】①約20年前から訪問美容を始めましたが、最初の頃は訪問の依頼は少なかったのです。サロン経営は予約制にしなかったため、時間管理が難しく、高齢や障がいのある方にとっては負担になりました。そこでコロナ禍を機会に、完全予約にすることで、一人一人に向き合う時間がしっかりと取れるようになりました。

②消毒の大切さをもう一度見直しました。悪かったことは、施設でクラスターが発生してしまって仕事がお休みになってしまったことです。

③コロナ禍のタイミングでお店を改装し、セット面を7面から4面、個室も作り、窓も大きくして換気をよくしました。その結果、お客様にあまり不安を与えずに済んでいます。人それぞれ認識が違うので、座席の配置なども工夫しています。

【質問】訪問美容は、サロンワークに従事していないとできないのでしょうか。また美容師としてのブランクや技術をどのように埋めればいいか解らないので、先輩方にお伺いしたいと思います。



【助言】①私は65歳でサロンワークを引退していますが活動しています。長女の出産を機に美容師を離れて9年のブランクがありました。そんな生活の中で訪問美容に興味を持ち色々と調べたところ、サロン従事者が訪問美容を行うことができるサロンが八王子市にあり、そこを友人に紹介して頂いて勤務しています。

②人との出会いが改めて大切だなと思いました。集いに参加して訪問美容の可能性を理解できました。さらに努力して訪問美容師としての夢に向かいたいと思います。

③サロンワークが無くても一步踏み出してみて

コツコツと努力すれば繋がりが出来て顧客が増えていきます。

④美容福祉は本当に奥が深く、一人での活動は行き詰まることが多いです。ある時、理事の先生に悩みを聞いていただき、「いつでも飛んでいきますから声をかけてください。」（愛知県から東京へ）と温かいエールを送って頂きました。忘れもしません。この繋がりがあってこそ「集い」と美容福祉です。理事をはじめ先輩の方々は皆さん心が熱いですから、是非声をかけて何でも聞いてください。

【質問】営業活動はどうしたら良いでしょうか。一人で活動するのもまだ不安があるし、施設等の訪問美容に出向いて、いきなり「すいコ～ム」で施術するのも不安があります。



【助言】サロン内や知人・福祉系・看護系・ケアマネージャーさん・社会福祉協議会等々に、とにかく話しかけることです。「福祉美容師です。こういった事が出来ます。訪問にいけます。」などと話します。またパンフレットを作成し、社協さん等、沢山の方に配り、置いて頂く。「信用」のためには、自分のサロン名や「山野学苑の福祉美容師で、ベッド上のカット、訪問美容が出来ます」とか、金額等をパンフレットに明示し、「見える化」すると良いでしょう。初めてだからと言われますが、技術が不安であれば、美容福祉技術講習は無料で何回でも受講できますし、地域には福祉美容師として活動している先輩が大勢いますから、事務局や先輩を頼るのもひとつの近道です。

【質問】訪問活動するにあたって役場に行って、「美容組合に入らないとダメですか？」「どれくらいの方が活動していますか？」などについて聞きましたが、的確な回答はありませんでした。昔からの美容室の先生が自分のお客様を訪問し、その先生が知り合いの先生に引き継いでもらうといった形しかないから、この地域では難しいのかなと思っています。

す。でも、やって行きたいし広めたい思いがあります。美容師資格だけでも訪問できるのでしょうか？サロンを持ってないと訪問美容出来ないのでですか？

【助言】美容師法の法規の話になってきますが、各自治体によって違いが出てきます。また、理容師法・美容師法では、「疾病その他の理由により、理美容室に来ることができない者」に訪問理美容が出来るとありますので、理美容師資格があれば訪問理美容は出来ます。そして私達は美容福祉技術講習で学び、通常の理美容師さんでは出来ない技術があります。自信を持って下さい。サロンを持ってなくても訪問活動している方は大勢います。サロンに所属して訪問理美容スタッフとして活動する方法もあるし、サロンによっては「訪問理美容店」という形で訪問を重点に予約を受ける営業形態をとっている先生もいます。

【質問】お店と訪問の時間のやりくりは？

【助言】①ネット予約も入ってくるので、訪問の時間は訪問とし、移動時間も含め余裕を持って動いています。1日に出来るお客様の数も決まってくるので、ボランティアに等しいし、売上の厳しいかも知れません。でも一人で動けるし、楽しい。訪問に行くと移動時間が気分転換にもなります。

②サロンに来店するお客様へは、訪問美容の予定を伝え、訪問美容実施日を避けてご予約を入れて下さるようお願いしています。

③現在はお店が1年を迎えた段階です。最初、定休日を訪問日と決めていましたが、在宅の方はデイサービスと重なってしまうことがあります。施設訪問は、現在コロナ禍のため午前、午後とも1件ずつといった感じで減らしています。上手にやればそんなに大変ではありません。今は原則として、午前を訪問、午後はサロンで回しています。

④水曜から日曜はサロン。月・火曜は訪問日。その中の第1週目と第3週目は施設、他は訪問というように固定させていけば重なる事はありません。どうしてものときは、サロンに支障が出ない様にしています。

以上

素敵な出会いは
あなたの一步から始まりました

NPO 全国介護理美容福祉協会

第15回登録理美容師の集い 出席者アンケートまとめ

1. 本日の『オンライン登録理美容師の集い』はいかがでしたか。

- ◆これから更なる可能性を見出せた。◆毎年登録美容師の先生方のお話を聞き、みんな一緒に考えや想いに感動します。次の集いまでの励みになります。◆皆さんのお話を聞いて、美容福祉の原点に戻る事が出来ました！ ジーン理事長のお言葉にも大変感動しました。◆「福祉理美容師の心」と題した動画、感動しました。何度も見て士気を高めたい。ジーン先生のお話も感動しました。
- ◆コロナ禍における集いとして動画に始まり福島先生の挨拶、ジーン先生のお話まで全てが繋がり美容師の心を発信できた事。◆初めての参加で少し緊張しましたが、皆様方がとても優しく接してください、安心して参加出来ました。
- ◆迷っていた事や必要に感じていた事について皆さまのご意見を参考に少し前進できた気がいたしました。
- ◆今後の福祉美容に役立つ先輩方のお話を聞いて良かったです。◆進行側が慣れて来たと感じる。欲をいえばもう少し参加者が触れ合えるといいかなと。
- ◆対面からオンラインになり残念でしたが、昨年のオンラインを生かし開催して頂けた事。◆先生方や活動されている方の話を聞く事が出来て良かったです。人との繋がりも大切と思いました。
- ◆途中までしか参加できませんでしたが 先輩方の貴重なお話を聞いて勉強になりました。ありがとうございました。

2. 本日の集いで印象に残ったものはどれですか。 (複数回答可)

- ◆事務局制作の「福祉理美容師の心」と題した動画(15人) ◆動画は、はじめの一歩であり来た道であり未来に向けての心だと思いました。◆美容室「そら」杉本剛英氏の「八王子の地域連携」(12人)
- ◆杉本先生の八王子の地域連携は素晴らしいです。目標として私も様々な福祉活動に参加させて頂いてるのですが、これから課題が見えました。ありがとうございます。◆知識が浅い私でも分かりやすい内容でした。いちょうど木が懐かしかったです、
- ◆事前アンケートのまとめ(10人)
- ◆いまの現場の状況と今後の取り組みの参考にな

った。◆アンケートに関して自分の足りない事もわかり、まだまだ頑張れると思いました。◆グループディスカッション(16人) ◆情報交換など、みんなでシェアできる事は、素晴らしい時間だと思います。◆直接普段お話しできない方と小グループでのズームディスカッションであれば、気軽に質問などができるとても良い機会でした。

◆リアルではなくてもお顔が見れて嬉しかったです。◆これから訪問美容を始める方へのお手伝いができると思いました。◆自分と同じ思いや、他の方の悩みを聞くことにより、気づかなかつた点、対応点を学ぶ事が出来ました。◆ジーン理事長のお話にとても感動し、夢が広がりました(2人)

3. 次回の集いに取り上げてほしいテーマ等がありましたら教えてください。(複数回答可)

- ①美容福祉の価値と経済循環について (7人)
- ②美容福祉の人材育成に求める事 (10人)
- ③美容福祉と他職種の連携について (12人)
- ④美容福祉と医療や福祉の現場での倫理観のズレについて (9人)
- ⑤その他(自由回答)(1人) = 何故訪問美容は介護保険適用にならないのでしょうか？

「第15回登録理美容師の集い」出席者

(都道府県別)

【宮城県】庄子泉

【栃木県】川津孝代

【埼玉県】上田直実、高倉千恵、成田夏子

【千葉県】高木久美子

【東京都】池ヶ谷恵美、榎本美幸、河口美香、金清礼、久保田宏美、久保田康子、須田よしみ、迫和美

【神奈川県】岩谷智子、寺岡慎太郎

【長野県】遠山光子

【山野学苑】上田豊巳、西潔

【NPO全国介護理美容福祉協会理事・事務局】山野愛子ジーン、佐野美恵子、杉本剛英、七井勝彦、西尾栄次、山下玲子、及川麻衣子、大西典子、福島清、荻野道人、村木代志美、熊谷真紀



美容ケア研究所グループ



生きるほどに美しく、美齢を通して地域の方々の集いの場所を目指しております。

美齢とは、……美しく年を重ねる。美容・医療・介護・福祉など多くの職種が包括的にケアの美を通して健康長寿と豊かな生き方をサポートすることです。



癒し処

日本産精油yuica認定スペシャリスト・エキスパートによる施術が受けられます。

(予約制)

・ハンドケア(パラфин・パック)・フットケア(フットバス)・フェイシャルケア
(シェービング付き)・ヘッドケア(ブロー付)・骨盤ケア・リンパケア



美齢処

・お客様がご自宅での顔や手・足などのお手入れをされる際のポイント等を学び、日々のおしゃれを楽しむための座学です。

・フェイシャルセルフケア(お顔のお手入れの仕方)・ハンドセルフケア(手のお手入れの仕方)・フットセルフケア(足のお手入れの仕方)・ヘッドセルフケア(頭のお手入れの仕方)・クラフト座学・介護系の方へのケア座学



学び処

『日本人には日本の森の香り人と森をつなぐ yuica。』
yuica認定日本産精油アドバイザー、インタークリター資格取得講座 講座カリキュラム(全3回/1回2時間 合計6時間)yuica認定日本産精油スペシャリスト・エキスパートによる認定講座が少人数から、受講時間等々御希望に合わせて講座致します。



訪問美容

NPO全国介護理美容福祉協会 登録理美容師としてサロンワークと共に、在宅・施設・病院などにお伺いしてカット・パーマ・カラー等、プロの理美容師が美容室と同じ施術をお届けする訪問美容活動です。



販売処

美齢ケアを助けるためのお品(美容用品・美容器材・化粧品・アロマ用品・アロマ器材)等をはじめ、ユニバーサル商品・地域支援商品・季節商品など様々な品を集めた販売処です。



寄合処

愛知県一宮市の癒しのコミュニティーサロン。ふくびは、寄合どころとして「コミュニティが広がる」「大切な事を教える」「学べる」「みんなで楽しさを共有する」場所としてビジネスの打ち合わせや会議、お料理教室や、女子会、ランチ会、カルチャー教室、ワークショップ、展示会など様々な用途にご利用いただけます。



美容ケア研究所グループ

福祉は高齢者のものではなく…

「美齢」が入る事で、他の職種では成しえない、全ての方との根強い地域コミュニティサロンを構築しております。

コミュニティーサロンふくび

〒491-0846 愛知県一宮市牛野通1-55-1 Tel0586-24-1158

ヘアーレスト

〒491-0846 愛知県一宮市牛野通1-55-1 Tel0586-24-2249

美容室 エボック

〒491-0846 愛知県一宮市牛野通2-11-4 Tel0586-72-4035

「ふくび」は、NPO全国介護理美容福祉協会理事の西尾栄次、山下玲子さんが運営しています。

<お問い合わせは、0586-24-1158(ふくび)または090-9123-8003(山下)まで>

お問い合わせは⇒ <https://tearful-eyes.wixsite.com/houmonkenbi>

「えみんど」は、「すぎなみ」の傘下にあり、広田恵美さんがリーダーとなって6人の理美容師さんで運営しています。



Welcome

あなたのお部屋が美容室 私たちが 笑顔と安らぎをお届けします

ごあいさつ

心身のさまざまなご事情のため、理容室・美容室のご利用が難しい皆様も、育児や介護に寄り添っているご家族様にも…「えみんど」は、おひとりおひとりのお困りごとに丁寧に向き合い、あなただけの美容空間をご用意いたします。

どうぞよろしくお願ひいたします。

★長年のサロンワークでの経験を経て
現在は、主に「島田療育センター様」へ訪問美容をお届けしています。

えみんど リーダー emi



メニュー・料金

★カット ★カラー ★メイク ★着付け(車椅子含む)
★ネイルケア ★フェイシャルケア ★ヘッドスパ など
トータルビューティーを目指しています！

使い捨てタオル・クロス等の必要物品はすべて持参いたします。
また、料金には「施術料・出張費・交通費」などを含んでおります。
特別な場合を除き、別途追加料金をいただくことはございません。

ご家族・お友だちなど2名様以上のご利用で割引もございます。

ご希望のメニュー内容や具体的な料金など、
詳細はお気軽にお問い合わせくださいませ！

「訪問健美理美容・すぎなみ」は、2015年に10人の理美容師で発足し、東京・杉並区を中心に、在宅の高齢者への訪問理美容を行ってきました。

その活動を知った多摩市の島田療育センターから、重度の心身障がい者の方々への訪問理美容を要請され、実行してきました。ところがコロナ禍のため、同センターから感染症防止対策として訪問スタッフは、①多摩地域在住の人②車での訪問が可能な人にお願いしたいと要請され、急遽新たにスタッフを迎えて新体制で臨んできました。こうした実績が知られてきて、現在では在宅の方への訪問も増え、スタッフの心にも、お客様にも地域共生の意識、体制が育まれてきていることを実感しております。

そこで、この度多摩地域に地域密着型の「えみんど」をスタートさせました。今後は、「えみんど」をモデルケースとし、各スタッフが住む地域にステーションを置き、美容福祉活動の場を拡げて参りたいと思います。（「すぎなみ」代表・佐野美恵子）

大切にしています

「えみんど」は、何より双方向のコミュニケーションを大切にし
おひとりおひとりのご要望をお伺いしながら、
個性が輝く【お似合いカット】をご提案いたします。
また、髪に優しいカラー剤の使用と頭皮にもストレスのない施術
を心がけて、「美楽スタイル」へと導きます。

★必要十分な感染対策はもちろん、当日のご気分や
頭髪の特徴・皮膚の状態・過敏の程度・アレルギーの有無
安楽な姿勢・所要時間のご希望など、全体像に配慮するよう
努めています。

ご心配なことなど、何なりとご相談くださいませ！

ご縁に感謝！

美容メニューにプラスして「特別なひととき」を！



ハンドトリートメントの
プレゼントタイム

アロマデュフューザーで
リラックス



カリンバ演奏で
ハッピータイム

NPO 全国介護理美容福祉協会 2022 年度理事会・社員総会報告



【理事会・社員総会出席者】(左から) 萩野道人、熊谷真紀、村木代志美、福島清、河内律子、公文裕子、西尾栄次、杉本剛英、山下玲子、佐野美恵子、山野愛子ジェーン、中川巧スタン、田爪正氣、七井勝彦、三宅政志公、鈴木輝康、大西典子(敬称略)

NPO 全国介護理美容福祉協会の 2022 年度理事会・社員総会は、6 月 7 日に開催。理事 13 人中 8 人、監事 2 人中 1 人、社員 10 人中 3 人の出席で成立を確認し、議案について審議の結果、賛成をいただき、承認・決定しました。以下、議案の概要です。

1. 2021 年度事業報告

・山野学苑公開講座・美容福祉技術講習受講者 = 2005 年 4 月から実施している本公開講座受講者は 2022 年 3 月 31 日現在、累計で 2,284 人 (内台湾 2 人)
・登録理美容師 (山野学苑公開講座・美容福祉技術講習受講者で本 NPO に登録して訪問理美容を実践している方) 1,472 人。
・訪問理美容器具の販売 = すいコーム = 55 個、ハッピーシャンプー = 1 個
・訪問理美容実施数 (事務局へ報告済) 麦の会 = 14 人、都立府中療育センター = 433 人、八王子療護園 = 82 人、計 = 529 人
・第 14 回登録理美容師の集い = 2021 年 8 月 31 日、33 人が参加してオンラインで実施し、NEWS LETTER (第 13 号) でまとめ、報告しました。

2. 2021 年度収支決算報告・同監査報告

【経常収益】(訪問理美容事業、リース・レンタル事業収益など) 4,366,979 円 【経常費用】(事業費、管理費等) 3,934,981 円 【当期収支残】1,237,058 円

3. 新役員選任

第 10 期役員任期満了にともない、第 11 期 (2022.7. ~2023.6.30) 役員を別項の通り選任し、副理事長に中川巧スタンを選出しました。

4. 2022 年度事業計画

1) 活動方針

理・美容室へ来店困難な、高齢者、障がい者、福祉施設入所者、障がい者施設入所者、病院入院患者等に対して訪問理・美容を行うとともに活動の安全向上を図るための普及啓発に関する事業を行い、地域の保健、福祉の推進に貢献するため、体制 (態勢) 基盤を整備しつつ積極な活動を推進する。

- (1) 登録理美容師、自治体、関係諸団体との連絡調整を密に行うと共に山野学苑との連携に心掛ける。
- (2) 各種事業を積極的に実施し、その目的及び趣旨に沿うよう広報活動に努める。

2) 事業に実施に関する事項

- ◇訪問理美容サービスの提供と啓発 ◇研修・教育 ◇研究・開発 ◇広報・公聴 ◇ボランティア活動 ◇組織体制の整備 (事務・経理を含む)

3) その他の事業 訪問理美容福祉機器の販売

5. 2022 年度収支予算

収入・支出ともほぼ前年度同様 420 万円とする。

NPO 全国介護理美容福祉協会・役員・社員名簿

◇理事長 = 山野愛子ジェーン、副理事長 = 中川巧スタン、専務理事 = 福島清、理事 = 栗原麻衣子、佐野美恵子、杉本剛英、田爪正氣、七井勝彦、西尾栄次、山下玲子、三宅政志公 (13 人) ◇監事 = 水野孝平、大西典子 (2 人) ◇社員 = 鈴木昌子、公文裕子、河野誠二、杉浦ゆり、木谷佳子、高田和子、鈴木輝康、和田勝美、河内律子、船水美保 (10 人) ◇事務局長 = 萩野道人、事務局員 = 村木代志美、熊谷真紀

一般社団法人 日本美容福祉学会 第21回学術集会開催のお知らせ

＜大会テーマ＞

人生100年時代の地域共生社会にむけた美容の連携

美容福祉の理論と実践に関する研究、普及活動等の成果を発表・討議し、学問体系の確立を目指すとともに、高齢者、障がいをもつ人々を含めた社会課題に対して美容を手段として貢献します。

『日程・プログラム』

○日時 2022年11月5日（土）13時00分～16時30分

○方法 ZOOMによるオンライン開催

* 12時30分から入室可能です。

13時00分～ ◇開会の辞 山野愛子ジェーン 日本美容福祉学会理事長

13時10分～14時10分

◇招待講演①

テーマ「コロナ禍に社会の脆弱性を知った今、

私たちは何を考え生きるべきか」

北原 茂実氏（医療法人社団KNI 理事長）

14時10分～15時10分

◇招待講演②

テーマ「医療と福祉と美容の連携する上での倫理的課題と期待」

竹下 啓氏（東海大学医学部医療倫理学領域教授）

15時10分～16時10分 ◇一般演題発表

16時10分～16時30分 ◇アンケート等・閉会の辞



実行委員長

大西 典子教授

◎演題募集について

①演題内容=症例報告、調査研究・介入研究など。②様式について=別添様式のとおり。③申し込み方法=一般社団法人日本美容福祉学会ホームページ内入力フォームへオンライン申し込み。④発表方法=ZOOMによる口頭発表及び集録集への掲載。⑤締め切り日=2022年9月30日(必着)⑥参加費=1,000円

[大会事務局] 山野美容芸術短期大学事務局気付 日本美容福祉学会第21回学術集会事務局

192-0396 東京都八王子市鎧水 530 E-mail info@bwgakkai.gr.jp H P www.bwgakkai.gr.jp

【主催】一般社団法人日本美容福祉学会 日本美容福祉学会第21回学術集会実行委員会

【後援】学校法人山野学苑、山野美容芸術短期大学、山野美容専門学校

【協賛】NPO 全国介護理美容福祉協会

